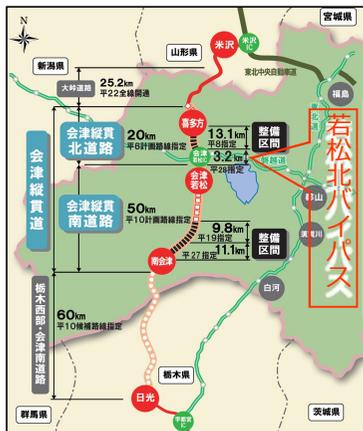




国道121号若松北バイパス（会津縦貫北道路）

福島県会津若松建設事務所

位置



事業の目的

会津縦貫北道路は、会津縦貫南道路と共に県土の骨格となる6本の連携軸の一つである会津軸を担う約20kmの地域高規格道路です。本事業は、周辺道路（国道49号・国道121号・国道252号）における交通渋滞箇所を回避することにより、移動時間の短縮や定時制の確保を図るとともに、会津縦貫北道路の供用区間と一体となり、山形県や栃木県との広域交流の促進や観光周遊ルートの形成による産業の振興、さらには大規模災害時等における迂回路や迅速かつ安定した救急搬送ルートの確保を図るものです。



渋滞の様子（観音前交差点）



国道121号 若松北バイパス L≒3.2km

【①供用中区間】



ICランプ橋 L≒24m

(仮) 1号橋 L≒193m

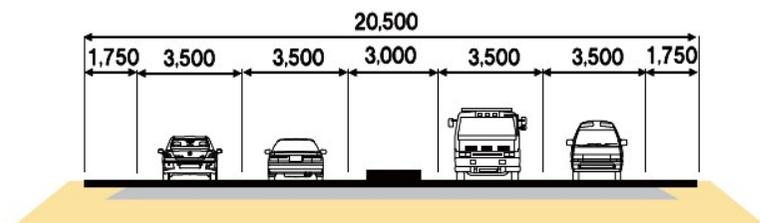
(仮) 2号橋 L≒42m

(仮) 3号橋 L≒52m

【③から望む】



横断計画



- 4車線（片側2車線）の自動車専用道路
- 盛土によりバイパスを整備

完成イメージ



経緯

平成 6年12月	地域高規格道路の計画路線に指定
平成28年 4月	整備区間に指定 補助事業（地域高規格道路）として事業着手 事業説明会（以降、随時実施）
令和 2年11月	都市計画（変更）県報告示
令和 4年 6月	用地交渉着手
令和 6年11月	本体盛土工事着手